

2009 年度コレクション展 特集展示 風景画に親しむ

PRESS RELEASE

関連記事掲載・番組での紹介のお願い

拝啓

早春の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、兵庫県立美術館の活動にご理解ご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、当館では、平成21年3月28日(土)から7月12日(日)まで「2009 年度コレクション展 特集展示 風景画に親しむ」を開催いたします。

つきましては、貴媒体にて本展をご紹介いただきますようお願い申し上げます。また、広報用写真や読者・視聴者プレゼント用招待券(最大10組20名まで)もご用意しております。ご希望の場合は、別紙のFAX用紙にてご請求ください。

その他、ご不明な点や資料等のご請求がございましたら、お問い合わせください。

敬具

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1

兵庫県立美術館 営業・広報グループ

TEL 078-262-0905

FAX 078-262-0903

2009 年度コレクション展 特集展示 風景画に親しむ

写真使用お申込書

読者・視聴者プレゼント用招待券お申込書

営業・広報グループ 行

F A X (0 7 8) 2 6 2 - 0 9 0 3

希望写真(作品名)	
貴社名	
媒体名	
ご担当者名	
ご住所	〒
電話番号	()
F A X	()
メールアドレス	@
掲載・放送予定日	
写真到着日希望	
読者・視聴者プレゼント用招待券(最大10組20名まで 本展を媒体でご紹介いただける場合に限ります)	組 名分希望

写真データ使用は、本展覧会の紹介用のみとさせていただきます。それ以外での使用はできませんので、ご了承ください。

本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが、掲載誌・紙または録画テープを、下記宛にお送りくださいますようお願い申し上げます。

本展覧会会場の取材、撮影をご希望の場合は、下記までご連絡ください。事前にご連絡のない取材、撮影はお断りいたします。

兵庫県立美術館 営業・広報グループ
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-1-1
電話(078)262-0905

2009 年度コレクション展

特集展示 風景画に親しむ



金山平三《浜辺の道》1945-1956年

1 開催概要

兵庫県立美術館では、8000点を超える作品を収蔵しています。これらコレクションの魅力を広く知っていただくため、さまざまなテーマに沿った展示をしています。

今年度1回目のコレクション展のテーマは「風景画に親しむ」。風景画は風景自体に魅力があるのはもちろんですが、空間構成や描出方法などにも興味深い点が多々あります。今回はとくにこの表現面に焦点を当てています。本展覧会では、9つの視点を設け、風景画の多様な世界を紹介します。なお、風景画には、日本画、洋画、版画を含め、さらに風景写真と風景彫刻なども展示します。

2 会期等

2009年3月28日(土) - 7月12日(日)

休館日 月曜日(ただし5月4日(月)・5日(火)・6日(水)は開館、7日(木)は休館)

会期中に展示替えを行います。

前期：3月28日～5月24日

後期：5月26日～7月12日

開館時間 午前10時から午後6時まで

特別展開催中の金・土曜日は夜間開館(午後8時まで)

入場は閉館の30分前まで

3 会場

兵庫県立美術館 1・2階常設展示室

4 主催

兵庫県立美術館

5 観覧料金

一般 500(400)[300]円 / 大高生 400(320)[240]円 / 中小生 250(200)[150]円

()内は20名以上の団体割引料金、[]内は特別展セット割引料金

兵庫県内の小中学生はココロカードの提示により無料

障害のある方とその介護の方1名は各観覧料の半額

兵庫県内在住の65歳以上の方は一般料金の半額

6 展示構成

1 階

展示室1 特集展示「風景画に親しむ」

1章 海景と水平線

1m50cmの高さで壁に引いた水平線と海景の水平線を一致させて展示します。個々の作品によって水平線の高さが異なるように、海景の表現ひとつをとっても多様性があることが分かります。

金山平三《浜辺の道》1945-1956年



2章 作者の位置

風景画には、その風景から作者の位置が分かるものがあります。風景のとらえ方にとって重要な要素である作者の視点を提示します。

国枝金三《大阪街景》1928年



3章 遠さと広がり

二次元の中で三次元を描く困難さは、当然、風景画にも見られます。その例として、空間の遠近と広がりをあげることができるでしょう。モチーフの選択や巧みな手法によって、画家が両方をどのように表しているかを見てゆきます。

須田国太郎《工場地帯》1936年



4章 縦長の風景画

日本画の掛軸において山水（風景）がどのように描かれたのを見、洋画でも縦長の風景画は俯瞰や視点の変化などの表現があることを確認します。

古家新《海女の庭》1933年



展示室2 特集展示「風景画に親しむ」

5章 タイトルは「風景画」

タイトルを「風景画」としながらも、単なる風景を描いていない作品を選んで、そこに込められた意味を探ります。

6章 版画表現としての風景

当館のコレクションの柱の一つである版画の中で、風景をモチーフにした、ユニークな版画を選んで展示します。

展示室3 特集展示「風景画に親しむ」

7章 心の中の風景 / 風景の時間

風景画はただ外界を描くだけではありません。想像の中でふくらませた風景を描いた絵もあります。また、風景には、現在を表すだけでなく、過去や未来を表現することもできます。このように、風景を使って多様な世界を作ることができるのです。

福田美蘭《淡路島北淡町のハクモクレン》2004年



8章 現代の風景

現代表現の中で、風景をモチーフにしたものを展示し、現代の表現と風景の関係を探ります。

新宮晋《雲》1984年



展示室4 特集展示「風景画に親しむ」

9章 風景と写真

近代の構成主義風、あるいは、シュルレアリスム風といったいくつかのスタイルの風景写真を展示し、また、現代では写真を使った表現の中で、風景に関する作品も紹介します。

安井仲治《上賀茂にて(二)塀》1941年 個人蔵
図版提供：渋谷区立松涛美術館



展示室5 海外の近現代彫刻 / 安藤忠雄コーナー

オーギュスト・ロダンをはじめとする海外の巨匠による彫刻を展示します。また、当館設計家の安藤忠雄による震災復興プロジェクトを紹介するコーナーも併設しています。

オーギュスト・ロダン《オルフェウス》1892年



2階

展示室6 近現代の洋画・日本画・彫刻

林武、小出櫓重、斎藤真一、横尾忠則らによる人物画の名品および日本画の優品を紹介。「具体美術協会」の主要メンバーの作品も展示します。日本画の展示替えあり。

(前期：3月28日 - 5月24日 後期：5月26日 - 7月12日)

白髪一雄 《彩瓢》1963年



小磯良平記念室

神戸生まれの小磯良平(1903-1988)は、近代洋画を代表する巨匠のひとりです。的確なデッサンとやわらかな色づかひの、気品あふれる人物画で知られています。ハイカラなセンスあふれる画風は、いかにも神戸の町にふさわしいものです。この記念室では、デビュー作となった《T嬢の像》や、戦時中に描かれた《斉唱》などの代表作を中心に、小磯良平の名作を常に展示し、その魅力を紹介しています。

金山平三記念室

神戸生まれの金山平三(1883-1964)は、風景画の名手として知られる近代洋画の巨匠です。信州や東北をはじめ日本各地を写生に訪れ、落ちついた色づかひと巧みな筆さばきで、情感ゆたかに風景を描き出しました。この記念室では、金山の作品を常に展示し、その画業を紹介しています。

金山平三《菊》1921年頃



7 関連事業

- (1) 学芸員によるギャラリートーク
4月11日(土)
午後3時30分から(約1時間) エントランスホールに集合 要観覧券
- (2) 中原佑介館長による講演会「コレクションにちなんで(仮称)」
4月19日(日)
午後2時~3時30分 ミュージアムホール 聴講無料
- (3) こどものイベント「アートであそぼ！」
4月19日(日)
午前11時~午後3時 エントランスホールに集合 参加無料
お問合せ TEL 078-262-0908 [こどものイベント係]
- (4) 学芸員によるレクチャー
「風景画の秘密」
5月16日(土)
午後3時30分~5時 レクチャールーム 聴講無料
「風景と向きあう写真」
6月27日(土)午後3時30分~5時 レクチャールーム 聴講無料
- (5) ミュージアム・ボランティアによるガイドツアー
会期中の金・土・日曜日 いずれも午後1時から(約45分)
1階、2階、屋外に分けて、コレクション展の見どころをご案内します。
エントランスホールに集合 参加無料、ただし1階、2階の場合は観覧券が必要

8. お問合せ先

兵庫県立美術館 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-1-1

<http://www.artm.pref.hyogo.jp>

取材・写真提供に関すること：営業広報グループ

TEL:078-262-0905 FAX:078-262-0903

コレクション展 の内容に関すること：学芸員 出原 均

TEL:078-262-0909 FAX:078-262-0913